

講義科目名称： 教育相談（H）

授業コード： 51801700

英文科目名称： Educational Counseling

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	選択
担当教員			
佐藤 琢志			
金1			
添付ファイル			

科目の概要	<p>不登校やいじめ、非行など、今日の子ども、保護者、教師を取り巻く環境・問題を考察しながら、子どもを正しく理解し、問題を抱えた子どもにどのように指導・援助していけばよいのか臨床心理学の知見をふまえ、幅広く学んでいくことができるように講義する。</p> <p>また、基本的なカウンセリングの知識や技術を指導するとともに、教師が行う「学校における」カウンセリングのあり方、及び、校内や地域、関係機関との連携について理解を深め、その基本的な態度を身につけ、教育現場で活用できる力を養うように講義する。</p>
授業の内容	<p>第1回 教育相談の基礎知識について 教育相談の学校における意義と課題を理解する。同時に教育相談の3つの機能について理解する。</p> <p>第2回 価値観の多様性について 自分とは異なった意見を受け止め、多様な価値観を理解する。</p> <p>第3回 カウンセリングにおける受容・共感・傾聴について 話を聴くための基本的な姿勢を理解する。また、傾聴のスキルについて学ぶ。</p> <p>第4回 子どもたちのSOSサインについて 子どもたちが発するサインとカウンセリングマインドについて理解する。それと同時に学校と家庭の連携について学ぶ。</p> <p>第5回 自己理解について 相談場面における自己理解の重要性とその視点について学ぶ。</p> <p>第6回 不登校に対する対応（その1） 不登校に関する基本的な知識を身につける。</p> <p>第7回 不登校に対する対応（その2） 不登校に対する基本的な姿勢と対応について学ぶ。また、学校内外の連携について学ぶ。</p> <p>第8回 いじめに対する対応（その1） いじめに関する基本的な知識を身につける。また、いじめに対する対応の基本的流れについて理解する。</p> <p>第9回 いじめに対する対応（その2） いじめの様態を理解するとともに、基本的対応の留意点について学ぶ。</p> <p>第10回 発達障がいのある児童生徒への対応について（その1） 発達障がいについての基礎的な知識について学ぶ。</p> <p>第11回 発達障がいのある児童生徒への対応について（その2） 発達障がいを背景とした相談における基本的な姿勢と対応について学ぶ。</p> <p>第12回 保護者を対象とした教育相談について（その1） 教育現場における保護者対応の重要性とその視点について理解する。</p> <p>第13回 保護者を対象とした教育相談について（その2） 学校における保護者対応の基本的な流れについて理解する。また、他機関との連携について学ぶ。</p> <p>第14回 反社会的行動の理解と対応 非行や不良行為に対する基本的な姿勢と対応について学ぶ。</p> <p>第15回 教員のメンタルヘルスについて、まとめ 教員のメンタルヘルスの現状とその不調について理解する。全体のまとめ。</p> <p>定期試験 定期試験</p>
学習到達目標	<p>1) 学校教育における教育相談の重要性を認識し、教育相談の方法や教育相談の実際について説明することができる。</p> <p>2) 「学校における」教師の相談のあり方として、基本的なカウンセリングの技法を使用することができる。</p> <p>3) 様々な子どもの問題行動について、教師としてどのように対応するべきか、見通しを立てることができる。</p>
授業の方法	<p>【授業形態】 基本的に講義形式であるが、下記のような演習を適宜取り入れる。</p> <p>【アクティブラーニングの取り入れ状況】 適宜、ロールプレイ並びにグループワークを取り入れる。</p>
成績評価の方法	定期試験（55%）、授業中の課題（30%）、受講態度（15%）
教科書・テキスト	向後礼子・山本智子 2014 「ロールプレイで学ぶ 教育相談ワークブック第2版」 ミネルヴァ書房

参考書	吉田武男監修 2019 「教育相談」 ミネルヴァ書房
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	教員になるという強い自覚のもと、現代の教育上の諸問題について書籍やニュース等を通じて興味・関心を向けておくこと。
履修上の留意事項	「教育心理学」を履修し、単位を取得していることが望ましい。
オフィスアワー	火曜日の昼休み（12：15～12：55）
課題に対するフィードバックの方法	採点をして返却する。
実務経験	高等学校の教員
その他	特になし